

農クだより

発行者
山梨県立農林高等学校
農業クラブ
甲斐市西八幡4533
電話055-276-2611
編集担当
飯室啓典 野田楓花
河西悠哉 三村理
池井翔太 藤田悠斗

令和元年がスタート!

来月から行事がスタート 古から伝わる農事暦を読む

■来月は農業クラブ活動がいよいよ忙しくなってくる時期です。農業クラブ活動は、農ク本会役員だけが取り組むモノではなく、農林高校生一人一人、全員が取り組むモノです。六月七日にはわかば支援学校との交流教育が開催されます。この取り組みは、三十年以上継続している行事です。各クラスの農業クラブ委員に協力して行います。六月に事前打合せを行いますので、参加者必ず参加して下さい。楽しい交流会となりますようご協力をお願いします。それが終わると校内意見発表会が十二日に開催されます。四月二十六日に行われ

た学科別意見発表の代表者は、今から準備と練習をお願いします。農事暦というものがああるのを知っていますか？農事暦とは、農事に従う人たちに必要な暦のことです。農事はまず季節を知る必要があります。なので、播種や収穫・施肥の時期、気象上注意すべき時期などを記載したものです。自然が相手の農業、一説に月の満ち欠け、潮の状況)によって収穫量や病気の発生を多少など、環境に影響を受け成り立っているのが農業であるなら、高校生の皆さんも暦に興味を持って良いのではないだろうか。種を蒔く時期にも決まりがあると：



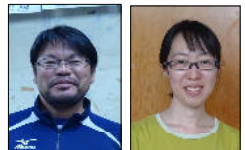
野中先生 原先生

■森林科学科の主な授業内容は、次のとおりです。林産物利用は、木材の特徴を学び、木材加工をしたり森林からとれる林産物について学ぶ授業です。卒業する頃には自由に木材



仙澤先生

加工ができる技術を身につけます。測量は、平板・レベル・トラバース測量をしています。その中でも機械の取り扱いを正しく行い据え付けを学ぶことで正しいデータができます。森林土木は、コンクリー・アスファルト舗装や基礎を学び、森林に関する知識を豊かにしています。



山下先生

■森林科学科の先生と話をしてみたい。今、生方を紹介します。前号のシステム園芸科よりもパワフルな先生が多いです。野中先生からメッセージを頂

森林科学科先生の紹介

森林科学科は、森林が地球環境に大きく影響することを踏まえ、森の環境を整え、森林の生産や活用について学習しています。皆さん、森の中に行つたことがありませんか？森の中では、人間と違ってぼけな存在だと感じます。その森が果たす役割は、私たち人間にとって重要なことばかり。興味がある人は、一度、森林科学科の先生と話をしてみたい。今、生方を紹介します。前号のシステム園芸科よりもパワフルな先生が多いです。野中先生からメッセージを頂

きました。やるべきことをしっかりとやる。それだけで成長できる以上。」原先生から挨拶など礼儀正しい人になるために指導するので覚えてください。」清水由梨子先生から「授業態度を改めて、勉強時間を増やそう！」仙澤先生から「こころでしか学べない事がたくさんあるので一生懸命頑張りましょう。」山下先生から「怪我のないように三年間頑張る。」森林科学科は、演習林の管理を行っています。間伐材などを利用した木材加工もお手のモノです。

農クファイルの活用を!

4月の農ク総会でも話をしましたが、農クファイルを購入しました。このファイルは、第1段階で、高校生活3年間で様々な資格やプロジェクト研究、学習成果(課題など)を積み上げ記録してもらい、第2段階で、自分の成長や活動記録など綴じ込んだ記録を振り返って、自分自身の強み、弱みを発見する。そして、第3段階として、3年や2年次の就職や進学時の自分の活動記録ファイルとして、第三者に提出できるようにまとめ、自分自身の売り込み用資料として、整理まとめ活用してもらいようとして整理することを目指します。だたのファイルやバインダーだけではありませんので、各自の編集段階では、主旨を汲み取って、日頃の学習との兼ね合いにご活用ください。よろしくをお願いします。農ク本会事務局

農業はこれから発展? ドローンやAIがこれからの農業を変える

▲ドローンをAIで自動運行させ、育成状況に合わせて農薬や肥料を散布するスマート農業の実証実験を開始したというニュースがあった。目標は作業時間の3割減と収量の3割増、ほかの地域の商品種の汎用性を高め、2年後のサービス開始を目指すとのこと。AIを活用して病害虫が発生する原因と水温、地温、気象データなどを組み合わせて分析し日本農業などのデータを使い、約70種類の病害虫に対応するようです。未来農業は、もっと進化するだろう。そこに人の存在意義って何なんだろう。今、食の安全から働き方改革と話題豊富です。皆もこれらに関心を持つ。

青鷺モラリス庭園に営巣

農林高校は自然の宝庫なのだろうか?

●青鷺」と書いて何と読むか知っていますか。実は「アオサギ」です。多くの先生方が口を揃えて話をしてくれることは、農林高校は、明るく、いろいろなことに興味を持って、根気よく取り組んでほしい。」というのでした。そのそろ今夏の気象に関する長期予想が出ると思いませんか。暑い夏には変わらなけれど、如何に過ぎすかだと思います。

システム園芸科の先生方からのメッセージ

先生方の熱い思いを受け止めて!

嶋津先生から「自分の力次第で道は広がります。」仲嶋先生から「農業を勉強して社会貢献できる人になってください。」雨宮先生から「学科は発展的な事が学べるので基礎を身につけてください。」清水綾子先生から「農業を勉強していい人生を送ろう!」星野先生から「高い志をもち頑張ってください。」齋藤先生から「通路で会った際は、気軽に声をかけてください。」中込先生から「花を見に遊びに来てください。」森下先生から「実習で大変なことがありますので頑張ってください。」深山先生から「勉強するのは、今しかないのだから、頑張ってください!」とメッセージが届いて

青鷺 (アオサギ) の姿



と読みます。青鷺は主に小魚やカエルなどの水生生物やヘビ等を捕食します。アオサギは全体が白と灰色をしています。よく水田や河原で見かける体調1mぐらいの鳥です。やや大型で、小魚などを食

体長1m前後の大型鳥 毎年同じペアとなる「夫」妻の鳥で珍しい

このことから今年はおオサギがとも発生していますその原因を考えて見ましよう。さて、このアオサギの鳴き声は、クアア、グエツグエツと鳴きます。時に

べてしまうので嫌われ者と言います。この鳥、実は昔から縁起が良い鳥と言われています。農林高校でも水田や日本庭園にもアオサギがよみ姿を見せます。アオサギの巣があり、先日、アオサギのひなが生まれたのか青色のような卵の殻が落ちていました。もしかしてカラスのいたずらかも?

農林高校でも水田や日本庭園にもアオサギがよみ姿を見せます。アオサギの巣があり、先日、アオサギのひなが生まれたのか青色のような卵の殻が落ちていました。もしかしてカラスのいたずらかも?